

# 持続可能な未来づくりにおける日本のリーダーシップ

2024.01.05（金）18：30～20：00 法経講義棟2番教室（要参加登録）

現在の地球温暖化や人権侵害といった問題は、企業の取り組み無しでは解決が難しい状況にあります。そのようななかで、世界の企業は、ESG、すなわち環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の問題に取り組み、それぞれの持続的発展の確保を目指すと同時に、国際社会において2030年を達成目標年に国連で合意された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にむけて貢献しています。今回の特別講義では、ESGの取り組みの目的としてのSDGsに焦点をあてた講義を実施します。この特別講義では、特に日本政府がSDGsの達成にいかなる貢献をしてきたのか、そして今後どのように貢献していくのか考えます。



講師：原 琴乃氏(外務省大臣官房人事課首席事務官)（OSIPP招へい准教授）  
Kotono HARA, Ph.D. (Ms) Principal Deputy Director  
Personnel Division, Minister's Secretariat Ministry of Foreign Affairs  
2002年大阪大学国際公共政策研究科修士課程、11年同博士課程修了、博士号取得。  
05年外務省入省。発展途上国のODAプロジェクトや東京五輪招致活動、欧州外交、  
G7伊勢志摩サミット、SDGs、国際保健などを担当し、20年から在英日本国大使館参事官、22年よりG7広島サミット事務局総括次長を歴任。23年夏より現職。  
03年パリ第1大学・第9大学でMBA取得。9歳より絵本作家として活動し、SDGsを次世代に伝える絵本や、児童書『「勇気をもって」やってみよう わたしもできる！世界とつながるSDGsアクション』などを出版。 ※講師はオンラインで登壇予定。

## 講義トピック

1

SDGs採択から現在にいたるまで、日本がサステナビリティ分野でどのようなリーダーシップを発揮してきたか

2

ケース：SDGs実施元年の伊勢志摩サミットにおけるアジェンダ設定

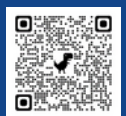
3

ケース：SDGs中間年の広島サミットにおけるサステナブルな会議運営

4

次なる未来ビジョン策定に向けてすべきこと

本特別講義は、国際公共政策研究科および法学部開講の講義【ESGインテグレーションの理論と実践】の授業の一部としても開講されますが、学内の履修登録者以外の方の聴講も歓迎いたします。また、オンラインでも参加することができます。参加無料ですが、事前の参加登録が必要です。参加可能人数に限りがあり、登録者が多い場合は、先着順とさせていただきますので、ご了承ください。



参加登録はこちらから



大阪大学大学院国際公共政策研究科  
ESGインテグレーション研究教育センター

担当：久保田雅則

E-mail: kubota.masanori.osipp@osaka-u.ac.jp